

2024年 1年社会科 年間指導計画

		単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点			評価の見取り	キャリア教育				
						主	思	知		人間 形成	情報 活用	将来 設計	意思 決定	
1 学期 前期	4 月	第1部 1章 世界の姿												
		1	授業開き(オリエンテーション)		・社会科授業について ・評価について									
		2	1 私たちの住む地球を眺めて ○地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。 また、世界はどのように区分することができるのだろうか。	さまざまな視点から衛星写真を見て、世界や日本の姿を大観する。	地球上における六大陸三大洋の位置と分布や区分を立体的にとらえさせる。	①六大陸三大洋、六つの州の位置や名前、分布を理解するとともに、地球儀や世界地図を使って六大陸や三大洋、六つの州の位置を示すことができる。 ②大陸や海の分布や位置関係を地球儀や世界地図から考えて表現できるとともに、アジア州の中での日本の位置関係を考えて表現できる。	○	○	ノート ワークシート			○		
		3	2 いろいろな国の国名と位置 ◎世界のさまざまな国の国名とその位置を覚えるには、どのようなことに注目すればいいだろうか。	国名や面積、形、人口、国旗などに着目し、世界の国々を大観する。	小学校での既習知識を生かしながら世界の地域をまんべんなく、たくさんの国を扱えるよう配慮する。	①さまざまな国の面積、形、人口、国旗などを理解するとともに、学習した国を白地図などを活用して主体的に整理しまとめている。 ②さまざまな国の面積、形、人口、国旗などに着目して、世界の地域構成を多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート					
		4	3 緯度と経度 ◎世界の国々や都市を表すには、どのような方法があるのだろうか。	緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解し、活用する。	具体的な事例を使いながら体験的に緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解させる。	①緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解するとともに、さくいんを使って日本や世界の都市の場所を調べまとめている。 ②緯度や経度のしくみに着目して世界の地域構成を多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート			○		
	5	4 地球儀と世界地図の違い ◎地球儀と世界地図の長所と短所は、それぞれどのような点だろうか。	地球儀と世界地図の構造を調べ、その違いや特色を理解するとともに、地球儀上で距離と方位を測る方法を身につける。	世界地図にはさまざまな種類があり、それぞれ正しく表現されていないところがあることに気付かせる。	①世界地図の種類ごとに、その長所や短所を理解するとともに、地球儀を使って二点間の距離と方位を調べることができる。 ②地球儀と世界地図とに違いが生じる理由や世界地図の正確な点や活用法などについて多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート						
	5 月	第1部 2章 日本の姿									人間	情報	将来	意思
		6	1 世界の中での日本の位置 ◎私たちが暮らす日本の位置は、緯度・経度で見た場合や、世界の他地域から見た場合、どのように表されるのだろうか。	地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな方法で日本の位置を示す。	中東や極東などの用語を紹介し、ヨーロッパを中心に世界をとらえるみかたにも触れ、さまざまな視点から日本や世界をとらえさせる。	①緯度や経度を使った日本の位置を理解するとともに、さまざまな地図を活用して、世界からみた日本の位置を読み取ったり、示したりすることができる。 ②地球儀や世界地図を活用しながら、日本の位置の示し方を多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート			○		
		7	2 時差でとらえる日本の位置 ◎地球上の位置によって、時刻が異なるのはなぜだろうか。	時差のしくみを理解し、日本とおもな国々(都市)の時差による違いや配慮などを考える。	等時帯を活用しながら時差を利用できるようにさせる。	①時差のしくみや等時帯の使い方を理解し、世界の等時帯を示した地図を活用して、さまざまな国や都市の時間を読み取ることができる。 ②日本とおもな国々(都市)の時差による違いや配慮などを多面的・多角的に考察する。	○	○	ノート ワークシート			○		
		8	3 日本の領域とその特色 ◎海に囲まれた日本の領域には、どのような特色があるのだろうか。	領域のしくみや日本の領域の特色を理解し、日本がかかえる領土問題について主体的に考える。	日本の固有の領土である北方領土や竹島、尖閣諸島について、我が国の主張をもとに指導する。	①領域のしくみや日本の領域の特色、日本が抱える領土問題について理解するとともに、さまざまな資料から我が国が抱える領土問題の経緯や我が国及び各国の主張を調べまとめている。 ②北方領土や竹島、尖閣諸島についての経緯や課題などを多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート			○		
9		4 都道府県と県庁所在地 ◎日本の都道府県と都道府県庁の位置には、どのような特色があるのだろうか。	都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解する。	明治以後の歴史的背景に着目させる。	①都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解するとともに、都道府県名と県庁所在地名との関係をもとに調べまとめることができる。 ②自分が知っている都道府県の位置や区分を多面的・多角的に考察することができる。	○	○	ノート ワークシート			○			

		第2部 1章 人々の生活と環境							キャリア教育					
	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点			評価の見取り	人間 形成	情報 活用	将来 設計	意思 決定		
					主	思	技							
5月	10	1 世界のさまざまな生活と環境 ◎世界の人々が暮らすそれぞれの地域には、どのような気候の違いがみられるのだろうか。	世界各地の市場の写真からその地域の気候の特色や人々の生活のようすを大まかに読み取る。	景観写真を活用した地域の気候や自然の特色、人々の生活のようすの読み取り方などの地理的技能を身に付けさせる	①雨温図を活用して世界の気候区分とその特色を調べてまとめ、その結果を理解している。 ②景観写真から得られた情報をもとにその地域の地域的特色を多面的・多角的に考察している。	○	○			○				
	11	2 暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～ ◎雨が多く気温が高いインドネシアでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。	インドネシアの人々の生活のようすから、暑い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	ジャカルタの雨温図と東京の雨温図を比較して高温多雨である特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からインドネシアの気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、インドネシアの気候や暑い地域での人々の生活の特色について理解している。 ②観光を目的とした開発が進む中で人々の生活の変化や新たな課題について多面的・多角的に考察している。	○	○					○		
	12	3 乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～ ◎乾燥した地域が広がるアラビア半島では、人々はどのような生活をしているのだろうか。	アラビア半島の人々の生活のようすから、乾燥した地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	サラーラの雨温図と東京の雨温図を比較して高温で乾燥している特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からアラビア半島の気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、アラビア半島の気候や乾燥した地域での人々の生活の特色について理解している。 ②水を得るための開発による生活の変化や、新たな課題について、多面的・多角的に考察している。	○	○						○	
	13	4 温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～ ◎温暖なスペインでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。	スペインの人々の生活のようすから、地中海性気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	バルセロナの雨温図と東京の雨温図を比較して地中海性気候の特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からスペインでの人々の生活の特色を適切に読み取り、スペインの気候や温暖な地域での人々の生活の特色について理解している。 ②シエスタなどの伝統的な生活の変化や、伝統と現代の生活文化の共存について、多面的・多角的に考察している。	○	○							○
	14	5 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～ ◎冬の寒さが厳しいシベリアでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。	シベリアの人々の生活のようすから、寒い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	ヤクーツクの雨温図と東京の雨温図を比較して低温で少雨の特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からシベリアの気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、シベリアの気候や寒い地域での人々の生活の特色について理解している。 ②外国文化の流入による生活の変化について、多面的・多角的に考察している。	○	○							○
	15	6 高地の暮らし～アンデス山脈での生活～ ◎標高が高いアンデス山脈の高地では、人々はどのような生活をしているのだろうか。	アンデス山脈の人々の生活のようすから、高地の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	クスコの雨温図と東京の雨温図を比較して高地の気候の特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からアンデス山脈の気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、アンデス山脈の気候や高地での人々の生活の特色について理解している。 ②現代化と観光化による人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察している。	○	○							○
	18	7 世界各地の衣食住とその変化 ◎世界各地の人々の住居や主食、衣服は、自然環境とどのような関係があり、かつてと比較すると、どのような変化がみられるのだろうか。	世界各地の衣食住の特色や変化、人々の生活との関係について理解する。	各地の自然環境の特色と関連させながらとらえさせる。	①景観写真や資料図などから世界各地の衣食住の特色を読み取り、世界の地域ごとに衣食住の特色を理解している。 ②世界各地でみられる伝統的な生活様式の変化について多面的・多角的に考察している。	○	○				○			
19	8 人々の生活と宗教の関わり ◎世界の宗教はどのように分布し、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	世界各地の宗教と人々の生活とのかかわりについて理解する。	宗教が世界各地の生活や文化と関わりが深いことについて着目させる。	①景観写真からそれぞれの宗教の祈りや習慣の特色を読み取り、世界のさまざまな宗教の特色について理解している。 ②世界各地の宗教とその地域の生活の特色との関連性を多面的・多角的に考察している。	○	○								
20	学習を振り返ろう	人々の生活と環境に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	地球上での位置や気候区分との関連に着目しながら、自然環境と人々の生活との関連についてとらえさせる。	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ①世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 ②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○							

1
学期
前期

第1部 2章 世界の諸地域										人間	情報	将来	意思
	21	1 アジア州の自然環境 ◎ユーラシア大陸の広い範囲を占めるアジア州では、地形や気候にどのような特色がみられるだろうか。	アジア州を地域区分し、地形や気候を中心に、国々や自然などの基本的な特色を理解する。	モンスーンの影響を受ける地域とそうではない地域とに区分できることに気付かせる。	①アジア州を地域区分し、自然環境に関するそれぞれの特色を理解するとともに、雨温図や景観写真などから雨季と乾季の違いやそれぞれの特色を調べまとめることができる。 ②雨季と乾季の違いや人口分布の違いなどについてモンスーンの影響と関連付けながら多面的・多角的に考察し表現することができる。	○	○	ノート ワークシート				○	
		2 アジア州の農業・文化と経済発展 ◎世界一の人口集中地域であるアジア州では、どのような農業が行われ、どのような文化が育まれてきたのだろうか。	アジア州の農業について、モンスーンの影響や降水量の違いに着目してその特色を理解するとともに、人口が集中する沿岸部では都市化が進んでいることを理解する。	年間降水量と稲作、畑作、遊牧の分布との関連性に気付かせる。	①アジア州における農業分布や宗教分布の特色を理解するとともに、降水量や農業分布、宗教別人口などの資料を活用して、地域の特色との関連性について調べ、まとめることができる。 ②年間降水量の違いと農業分布との違いを関連付けてその特色を考察するとともに、人口集中と経済発展とを関連づけてその特色を考察することができる。	○	○	ノート ワークシート				○	
1 学期 前期		単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点 主 思 技			評価の見取り		キャリア教育 人間 情報 将来 意思		
	6 月	23	3 経済発展を急速に遂げた中国 ◎巨大な人口を抱える中国では、急速な経済発展によって、社会にどのような課題が生じてきているのだろうか。	中国の急速な経済発展や生活の変化を工業化と関連付けて理解するとともに、急速な経済発展によっておこる課題について考える。	急速な経済発展の裏で経済格差の拡大や環境問題などの課題が深刻化していることに気付かせる。	①中国の急速な経済発展や地域の変化についてその特色を理解するとともに、さまざまな資料を活用して中国の急速な経済発展と地域の変化との関連について調べまとめることができる。 ②急速な経済発展にもなっている進行する経済格差や環境問題などの課題について多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	ノート ワークシート				
		24	4 最も近い隣国、韓国 ◎最も近い隣国である韓国は、生活・文化や社会と産業の変化において、日本とどのような関わりがあるのだろうか。	文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題などについて理解し、日本との関わりについて考える。	日本との関わりという視点から韓国のさまざまな特色について考えさせる。	①文化や工業の特色について理解しているとともに、輸出の変化や一極集中による課題について調べまとめている。 ②韓国の生活・文化や社会と産業の変化について、韓国と日本との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	ノート ワークシート				
	7 月	25	5 経済発展を目指す東南アジア ◎東南アジアの国々は、外国との関わりをなかで、どのような工業化を進め、経済を発展させてきたのだろうか。	外国とのかかわりの中で進んできた東南アジアの工業化の実態について理解する。	東南アジア各国の工業化が、外国との貿易が進展する中で発展してきたことに気付かせる。	①東南アジアの工業化の実態について理解するとともに、新旧の統計資料を比較して外国企業の進出増加や輸出品目の高度化について調べまとめている。 ②外国企業の進出増加や輸出品目の高度化と経済発展との関連性について他地域との結びつきに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	ノート ワークシート				
		26	6 産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア ◎人口増加が続く南アジアの国々は、どのような発展を続けているのだろうか。	南アジアの文化や産業の発展について、人口増加と関連させながら理解する。	ICT関連産業が発展が、地域の人々の生活の変化に大きな影響を与えていることに気付かせる。	①南アジアの文化や産業の発展を経済発展と関連付けて理解し、その特色を調べまとめている。 ②インドでICT関連産業が急速に発達した理由や貧困層に関する課題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート				○
		27	6 資源が豊富な中央アジア・西アジア ◎西アジアや中央アジアの国々の経済成長は、どのような産業が支えているのだろうか。	西アジアや中央アジアの経済成長について資源開発と関連させながら理解する。	原油の生産や輸出が南アジアや中央アジアの発展に与える影響について考えさせる。	①西アジアや中央アジアの経済成長について理解するとともに、資源生産や輸出の特色や変化について調べまとめている。 ②他地域との結びつきに着目して原油の生産や輸出が南アジアや中央アジアの発展に与える影響について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート				○
		28	7 節の学習を振り返ろう ■節の問い■ アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているのだろうか。	アジア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	他地域との結びつきや急速な経済成長、人口の増加などに着目しながら、その影響について考えさせる。	①アジア州の自然環境や社会環境に着目して、アジア州の地域的特色を整理することができる。 ②第1節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、アジア州の地域的特色、急速な経済発展や人口増加による課題などについて主体的に追究、整理しようとしている。	○	○	○	ノート ワークシート レポート			

		第2節 ヨーロッパ州				人間	情報	将来	意思				
		29	30	31	32	○	○						
1 学期 前期	8 月	1 ヨーロッパ州の自然環境 ◎ユーラシア大陸の西部に位置するヨーロッパ州では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に、ヨーロッパ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	同緯度同縮尺の日本に着目して、日本との位置関係をとらせさせるとともに、北大西洋海流や偏西風が及ぼす影響に気づかせる。	①地図や雨温図を活用して、ヨーロッパ州の地形や気候の特色を調べ、まとめている。 ②地球上におけるヨーロッパの位置に着目しヨーロッパの気候が温暖である理由について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	ノート ワークシート					
		2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性 ◎多くの国々が集まるヨーロッパの文化には、どのような共通性や多様性があるのだろうか。	位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を理解する。	ヨーロッパ州の文化が広く見ると共通性があるものの、細かな点では違いがあることに気づかせる。	①位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を調べまとめている。 ②位置や分布に着目しながらヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	ノート ワークシート			○		
		3 EUの成り立ちとその影響 ◎ヨーロッパでは、国境を越えた結びつきが強まることにより、人々の生活にどのような変化がみられたのだろうか。	ヨーロッパ州の国境をこえた結びつきに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを考える。	ヨーロッパ州の地形や歴史に着目させながらEU統合の理由や利点を考えさせるとともに、EU統合が人々の生活に与えた影響について考えさせる。	①ヨーロッパ州の地形や歴史に着目しながら、その特色を調べまとめている。 ②ヨーロッパ州の国境をこえた結びつきに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	ノート ワークシート					
		4 ヨーロッパの農業とEUの影響 ◎ヨーロッパの農業には、地域によってどのような特色があり、EUによる統合によって、どのような変化が生じたのだろうか。	ヨーロッパ州の農業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。	ヨーロッパ州の気候と農業との関係を理解させるとともに、EUの農業政策の実態と課題について考えさせる。	①緯度や気候に着目して、ヨーロッパ州の農業の特色を調べまとめている。 ②EU統合が与えた農業の変化やEUの農業政策の実態と課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	ノート ワークシート				○	
		単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点			評価の見取り				
						関	思	技	キャリア教育				
									人間	情報	将来	意思	
8 月		5 ヨーロッパの工業とEUの影響 ◎ヨーロッパの工業にはどのような特色があり、EUの統合によって、どのような変化が生じたのだろうか。	ヨーロッパ州の工業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。	ヨーロッパ州の資源と工業との関係を理解させるとともに、EU統合がもたらした利点や変化、課題について考えさせる。	①資源の分布や工業地域の立地に着目して、ヨーロッパ州の工業の特色を調べまとめている。 ②EU統合がもたらした利点や変化、課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	ノート ワークシート					
		6 EUが抱える課題 ◎統合を進めてきたEUでは、どのような課題が生じているのだろうか。	EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題やこれからのEUのあり方について考える。	EU域内での経済格差に着目しながらそれぞれの立場の主張を考えさせるとともに、課題を乗り越えた新しいEUのあり方について考えさせる。	①EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題を調べ、まとめている。 ②EU域内での経済格差に着目しながらそれぞれの立場の主張を考えさせるとともに、課題を乗り越えた新しいEUのあり方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	ノート ワークシート					

9 月	35	節の学習を振り返ろう ■節の問い■ ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	ヨーロッパ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	EU統合という地域のあり方に着目しながら、EU統合の良さや課題に気をつけさせる。	①ヨーロッパ州の自然環境や社会環境に着目して、ヨーロッパ州の地域的特色を整理することができる。 ②第2節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	ノート ワークシート					
	第3部 アフリカ州									人間	情報	将来	意思
	36	1 アフリカ州の自然環境 ◎アフリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	赤道をはさんで南北に広がる広大な範囲を概観し、地形や気候を中心に、アフリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	赤道をはさんで南北に対称な気候分布や高原や台地が全域に広がる地形の特色などに気付かせる。	①アフリカ州の地形や気候の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して、アフリカ州の地形や気候の特色を調べまとめている。 ②アフリカ州の気候や地形の特色を赤道を中心に整理し、サヘルや砂漠化について地域に着目しながら多面的多角的に考察し、課題の可決に向けて選択・判断することができる。	○	○	ノート ワークシート	○				
	37	2 アフリカの歴史と文化 ◎アフリカ州はどのような歴史をたどり、その文化には、どのような特色がみられるのだろうか。	アフリカの文化の特色や変化について、歴史的背景やヨーロッパとのつながりに着目しながら理解する。	アフリカ連合（AU）による政治的・経済的な団結によるアフリカ諸国の生活や文化の変化に着目させる。	①アフリカ州の文化と歴史について理解するとともに、さまざまな資料を活用してヨーロッパとのつながりの歴史や今もなおつながりが深いことによる地域への影響について多面的・多角的に考察することができる。 ②アフリカ連合（AU）の発足によるアフリカ諸国の人々の生活の変化や課題について多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート					
	38	3 特定の輸出品に頼るアフリカの経済 アフリカ州の産業にはどのような特色があり、そこにはどのような課題があるのだろうか。	アフリカの産業の実態や課題について、その変化に着目しながら理解する。	多くの国がモノカルチャー経済であり、さまざまな課題を抱えていることに注目し、そこからの脱却について多面的・多角的に考えさせる。	①アフリカの産業の実態やモノカルチャー経済について理解するとともに、アフリカ諸国におけるおもな輸出品の変化のグラフなどからアフリカ諸国の変化と努力について調べまとめている。 ②フェアトレードの取り組みに着目し、モノカルチャー経済からの脱却について多面的・多角的に考察し解決策を思考している。	○	○	ノート ワークシート				○	
	39	3 アフリカが抱える課題とその取り組み ◎アフリカ州の国々は、どのような課題を抱えており、その解決と発展に向けて、どのように取り組んでいるのだろうか。	アフリカ各国が抱えている問題を理解し、そこからの脱却について考える。	自国の取り組みや他国からの支援に着目しながらアフリカ州が自立するための方策を多面的・多角的に考えさせる。	①自国の取り組みや他国からの支援の実態を理解するとともに、さまざまな資料からアフリカ州が抱えている問題を調べまとめている。 ②自国の取り組みや他国からの支援に着目しながらアフリカ州が自立するための方策を多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート				○	
40	節の学習を振り返ろう ■節の問い■ アフリカ州の国々では、特定の産物に頼る経済が、地域にどのような影響を与えているのだろうか。	アフリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	モノカルチャー経済からの脱却などに着目しながら、アフリカ州の国々の発展や支援の在り方について気をつけさせる。	①アフリカ州の自然環境や社会環境に着目して、アフリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第3節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、アフリカ州の地域的特色やモノカルチャー経済からの脱却、アフリカ州の国々の発展や支援の在り方などについて主体的に追究、整理しようとしている。	○	○	○	ノート ワークシート					

1 学期後期

第4節 北アメリカ州						人間	情報	将来	意思
41	1 北アメリカ州の自然環境 ◎北アメリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に、北アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	広大な平原と大規模な山脈の分布、熱帯から寒帯まで見られる多様な気候を西経100度に着目して、北アメリカ州の自然の特色を大まかにとらえさせる。	①北アメリカ州の自然環境の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して、北アメリカ大陸の自然環境の特色を東西に分けて調べまとめている。 ②西経100度線に着目して北アメリカ州を東西に分けてそれぞれの気候や地形の特色を多面的・多角的に考察している。	○ ○				ノート ワークシート
42	2 移民の歴史と多様な民族構成 ◎北アメリカ州に多様な民族が集まったことは、地域にどのような特色をもたらしたのだろうか。	北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解する。	移民の歴史に着目しながらアメリカ合衆国を中心に北アメリカ州の文化や民族の特色が地域に与えた影響について考えさせる。	①北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解するとともに、さまざまな資料からアメリカ合衆国の移民や開拓の歴史、民族構成の特色について調べまとめている。 ②移民の歴史に着目しながらアメリカ合衆国の民族の特色や地域に与える影響について多面的・多角的に考察している。	○ ○				ノート ワークシート
43	3 大規模な農業と多様な農産物 ◎北アメリカ州で、農産物を大量に生産したり、輸出したりできるのは、なぜだろうか。	北アメリカ州の農業の特色について、世界の食料事情と関連させながら理解する。	北アメリカ州の農業が世界の農業に与える影響の大きさについて気付かせる。	①大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色について理解するとともに、北アメリカ州の自然環境に合わせた適地適作が進む農業地域の分布や特色について調べまとめている。 ②巨大企業による生産・輸出の形態や北アメリカ州の農業が世界の農業に与える影響の大きさや課題について多面的・多角的に考察している。大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色や課題について主体的に追究、解決しようとしている。	○ ○		○		ノート ワークシート
44	4 世界をリードする工業 ◎アメリカ合衆国の工業は、どのように変化しながら、世界をリードするまでに発展したのだろうか。	アメリカ合衆国の工業の発展と世界への影響について理解する。	アメリカ合衆国とカナダやメキシコなどとの関係性や先端技術産業の躍進などに着目させる。	①アメリカ合衆国の工業の特色を、重工業から先端技術産業への変化に着目して理解するとともに、鉱工業の分布図を活用してアメリカ合衆国の工業の特色を五大湖周辺、太平洋沿岸、南部地域に分けて調べまとめている。 ②先端技術産業の躍進などを事例にしながら、アメリカ合衆国が世界に与えるこれからの影響や課題について多面的・多角的に考察している。	○ ○		○		ノート ワークシート
45	5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題 ◎アメリカ合衆国の人々の生活には、どのような特色があるのだろうか。	アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し、世界への影響や課題を考える。	これまでの大量生産大量消費の在り方を見直し、持続可能な社会を実現するための課題について追究させる。	①アメリカ合衆国のこれまでの大量生産大量消費によるの生活や文化の特色を理解するとともに、野球場や大型ショッピングセンターの駐車場の写真から、アメリカ合衆国における車社会の発展について調べまとめることができる。 ②大型ショッピングセンターや大手ハンバーガーチェーンを事例として世界中に広がる文化とその影響やこれまでの大量生産大量消費の在り方を見直し、持続可能な社会を実現するための課題について多面的・多角的に考察することができ	○ ○				ノート ワークシート
46	節の学習を振り返ろう ■節の問い■ 北アメリカ州では、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達した結果、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	北アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	、北アメリカ州の世界に与えている影響に着目させながら、持続可能な社会を実現するための課題や方策について追究させる。	①北アメリカ州の自然環境や社会環境に着目して、北アメリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第4節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、北アメリカ州の地域的特色や持続可能な社会を実現するための課題や方策について主体的に追究、整理しようとしている。					
47	期末テスト		診断評価		○ ○				
48	テスト解答	学習の振り返り 誤答レポート作成	定着の不十分な課題を補足する	(関)誤答レポートをまとめることができる。	○				誤答レポート

		第5節 南アメリカ州							人間	情報	将来	意思		
2 学期 前半	10 月	49	1 南アメリカ州の自然環境 ◎南アメリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に、南アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	広大な熱帯林や世界最長の山脈などの分布に着目させる。	①南アメリカ州の自然環境の特色について理解するとともに、地図を活用して、平原や草原、山脈や高原の分布を読み取りまとめている。 ②南アメリカ州の気候の違いを、標高や緯度の違いと関連付けて多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート					
		50	2 多様な民族・文化と人々の生活 ◎南アメリカ州の国々の文化や民族には、どのような特色がみられるのだろうか。	南アメリカの文化の特色をその国々の歴史的背景に着目しながら理解する。	スペインやポルトガルの進出と植民地時代の歴史の影響に着目させる。	①南アメリカの多様な民族と人々の生活について理解するとともに、さまざまな資料を活用して先住民の暮らしの変化についてその実態を調べまとめている。 ②南アメリカ州の文化の成り立ちをスペインやポルトガルに進出と植民地時代の歴史の影響と関連付けながら考察するとともに、その変化や課題について多面的・多角的に考察している。		○	○	ノート ワークシート	○			
		51	3 大規模化する農業と成長する工業 ◎南アメリカ州の国々で、産業に変化がみられるようになったのはなぜだろうか。	南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について、開発に着目しながら理解する。	モノカルチャー経済からの脱却と経済発展のための開発に着目させる。	①南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について理解するとともに、ブラジルなどを例にして農業開発や資源開発によって南アメリカの国々がモノカルチャー経済から脱却し発展したことを調べまとめている。 ②農業開発や工業開発が南アメリカの経済発展に与えた影響や産業の発展に伴う課題について多面的・多角的に考察している。		○	○	ノート ワークシート			○	
		52	4 ブラジルにみる開発と環境保全 ◎アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発は、地域の環境や人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、より良い地域の在り方について考える。	開発と環境保全を持続発展的に両立させていくことが大切であることに気付かせる。	①アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、環境保全をめぐる新たな課題について調べまとめている。 ②開発と環境保全との持続発展的な両立や環境保全をめぐる新たな課題について多面的・多角的に考察している。		○	○	ノート ワークシート				○
		53	節の学習を振り返ろう ■節の問い■ 北アメリカ州では、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達した結果、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	北アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	、北アメリカ州の世界に与えている影響に着目させながら、持続可能な社会を実現するための課題や方策について追究させる。	①北アメリカ州の自然環境や社会環境に着目して、北アメリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第4節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、北アメリカ州の地域的特色や持続可能な社会を実現するための課題や方策について主体的に追究、整理しようとしている。	○	○	○	ノート ワークシート レポート				
		第6節 オセアニア州							人間	情報	将来	意思		
		54	1 オセアニア州の自然環境 ◎オーストラリア大陸と太平洋の島々からなるオセアニア州では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に、オセアニア州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	オーストラリア大陸と、ミクロネシア、ポリネシア、メラネシアの4地域に分けて自然環境の特色をとらえさせる。ツバルの海面上昇の問題についても考えさせる。	①オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解するとともに、さまざまな景観写真からオセアニアの生活や文化に対するイギリスの影響を読み取りまとめている。 ②オーストラリアが白豪主義から多文化社会へと転換した背景と理由及び多文化社会への転換に関する課題について多面的・多角的に考察している。		○	○	ノート ワークシート			○	
		55	2 移民の歴史と多文化社会への歩み ◎オーストラリアやニュージーランドをはじめとするオセアニアの社会は、どのような人々によって成り立っているのだろうか。	オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解する。	植民地支配と移民の歴史を背景にしたヨーロッパの影響による白豪主義のオーストラリアと、多文化社会へと大きく変化した近年の実態について注目させる。	①オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色について理解し、さまざまな分布図からオーストラリア大陸の各地で工業や農業がさかんであるところを調べまとめている。 ②オーストラリアの輸出品の変化からオーストラリアの産業の変化や発展をアジアとの結びつきに着目して多面的・多角的に考察している。		○	○	ノート ワークシート				
		56	3 他地域と結びついて発展する産業 ◎オーストラリアをはじめとするオセアニアの国々は、他地域と結びついて、どのように産業を発展させてきたのだろうか。	オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色を理解する。	アジアとの結びつきに着目し、農業と自然環境の特色、工業と地形の特色とを関連づけて考えさせる。	①オセアニア州の自然環境や社会環境に着目して、南アメリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第6節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。		○	○	ノート ワークシート	○			
		57	節の学習を振り返ろう ■節の問い■ オセアニア州では、他地域との関係が変化してきたことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	オセアニア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	白豪主義から多文化社会への転換やアジアとの結びつきに着目させながら、持続可能なオセアニア州の在り方について考えさせる。	①オセアニア州の自然環境や社会環境に着目して、南アメリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第6節の問いを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、アジアとの結びつきを強めた多文化社会を実現するための課題や方策について主体的に追究、整理しようとしている。	○	○	○	ノート ワークシート レポート				

歴史分野		単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点			評価の見取り	キャリア教育						
						主	思	知		人間 形成	情報 活用	将来 設計	意思 決定			
2 学期 前期	11 月	第1部 歴史のとらえ方と調べ方														
		58	歴史をたどろう ◎この絵は何だろう？	絵を活用して、小学校で学んだ内容を取り上げ、歴史を大きく変えた人物や出来事を考察し、時代を区分することの意味や意義を理解する。	・4人程度のグループで活動させる。 ・政治にかかわる人物の特徴（貴族、武士など）や友好・対立など外国との関係に関わる出来事に着目させ、年表に整理したものをもとに時代の転換点をいくつか挙げさせる。	①資料（絵）から歴史に関わる情報を適切に読み取ったり、年表などにまとめたりしている。 ②歴史を大きく変えた人物や出来事などを適切に取り上げ、時代区分との関わりについて考察し表現している。		○	○	ノート ワークシート 授業観察						
		59	1年代の表し方と時代区分 ◎年代の表し方や時代区分にはどんな種類があるのだろうか。	西暦、世紀、元号の意味と使い方を理解する。 政治の中心地による時代区分や文化の特徴から名付けられた時代区分があることを理解する。	・「徳川家康はいつ活躍した人物か」などの具体的なできごとに関する問いの答えを、西暦、世紀、元号、時代区分などを使って表現させる。 ・「歴史をたどろう」（p.1）の道の上に、時代区分を書き込ませてよい。	①歴史上の出来事について、西暦、世紀、元号、時代区分などを使って「いつ起こったか」を適切に説明している。また、古代、中世、近世、近代、現代が、○○時代といった時代区分のどの時代と対応するのかを理解し、その知識を身につけ、歴史上の人物が生まれた時代区分を適切に説明している。 ②歴史を大きく変えた人物や出来事などを適切に取り上げ、時代区分との関わりについて考察し、「歴史をたどろう」の道の上に、適切に時代区分を書き込んでいる。			○	○	ノート ワークシート					
		第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた											人間	情報	将来	意思
		60	1 歴史の謎を探る～問いを作ろう～	地域の歴史にふれ、調べてみたいことがらを探し、班で話し合うなどしてから調べる課題を決定する。	・実際に見学し、直接関係者やさまざまな方々から話を聞くことができる場を工夫し、地域の歴史を事前に確かめておく。 ・新旧の地形図の比較をもとにテーマを決めさせる場合は、地域に出て調べられるものがあることを前提とする。	①身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心をもち、小学校などで学んだ地域の人物、身近な人の話や言い伝え、地域の気になる建物・風景、遺跡・遺物、行事・風習などから、話し合いをもとに調べるテーマを適切に決めている。 ①図書館、博物館・資料館、インターネットなどから適切に情報を集める技能を身に付けている。				○	ノート ワークシート					
		61	2 資料をよく見てヒントを探そう	教科書や地域の副読本など、身近な資料から基本的な情報を集め、調べる視点を明確にして、いくつかの予想（仮説）を立てる。ルートマップなどの地図を用意し、マナーを守りながら野外調査や聞き取り調査を行って、情報を収集し、整理する。	・地域の図書館や博物館、インターネットなども積極的に利用させる。 ・予想（仮説）を立てるときには、日本の歴史の大きな流れとのかかわりやその由来に注目させる。 ・事実として確認できたことと確認できなかったことや、事実と自分の考えをしっかりと区別するように指導する。	①適切な地図の作り方・年表の作り方、野外・聞き取り調査のしかたを身に付けている。 ①身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統や文化に関するさまざまな資料を収集し、予想に関連のある情報を適切に読み取ったり、事実と事実でないことを区別するなど記録を適切に整理したりしている。 ②野外調査や聞き取り調査を通して、わからなかったことや新たな疑問などを日本の歴史の大きな流れと結びつけて考察し、自分の予想を根拠をもとに適切に表現している。			○	○	ノート ワークシート					
62	3 謎解きの答えを分かりやすくまとめよう	調べたり考えたりしたことを整理し、まとめの報告書（レポート）を作成する。調べたことを発表し、意見交換を行ったのち、調査全体をふりかえり、改善できる点や工夫できる点を探して、今後の調査活動に生かせるようにする。	・模造紙やコンピュータなどを使ったプレゼンテーション、グループディスカッション、パネルディスカッションなど、テーマや内容に応じて適切な方法で発表や意見交換を行わせる。 ・ほかの人の意見や観点を共有することで、より学習を深めることができることを実感させる。	①適切なレポートのまとめ方、発表のしかたを身に付けている。 ①調査を通してわかったことがらを適切な項目を立てて整理し、根拠となる資料を年表、地図、写真・イラスト、関係図・流れ図などを用いて表現している。				○	ノート ワークシート				○			

第2部 第1章 第1節 人類の登場から文明の発生へ					人間	情報	将来	意思									
2 学期前期	11 月	63	1 人類がたどった進化 ◎人類は、進化の過程で、どのように生活を変化させてきたのだろうか。	環境の変化とともに、人類はどのように進化してきたのかを、文章や資料から読み取り、表または図にまとめる。	・人類が、厳しい環境を生きぬくなかで、知恵や工夫をつちかかってきたことを、道具の種類や用途をふまえながら実感させる。	①猿と人類（猿人・原人・新人）の違いについて、表または図に適切にまとめ、理解している。 ①旧石器時代には、日本列島が大陸と陸続きであったこと、現在の日本列島でも当時人類が生活していたことを理解している。 ②旧石器時代と新石器時代の石器の違いや土器が作られるようになったことなどをとらえ、環境の変化に合わせて人類の生活がどのように変化してきたかを考察し、適切に表現している。				○	ノート・ワークシート						
		64	2 世界各地で生まれる文明 ◎古代文明はどのような特徴を持っていたのだろうか。	文明はどのような地域で誕生し、またその地域ではどのようなものが生まれたのかを、文章や地図資料から読み取り、表にまとめる。	・メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明、中国文明を農耕や文字、青銅器や建造物中心にまとめさせ、世界の古代文明に共通していることがらに気づかせる。	①世界の古代文明について、成立した時期、文明が生まれた地域、その地域で生まれたものを表で適切にまとめ、理解している。 ②古代文明が誕生した地域と古代文明に共通する特徴を考察し、都市のおこり、金属器や文字の使用などの特徴について適切に表現している。					○	ノート・ワークシート					
		65	3 東アジアの文明の広がり ◎古代の中国は、どのように統一されていったのだろうか。	中国に登場した秦や漢ではどのような政治が行われたのか、文章や資料から読み取る。	・秦の始皇帝の政治の特色、漢と周辺諸国との関係、シルクロードの役割、儒教と仏教の違いなどに気づかせる。	①漢の時代の中国と周辺諸国との関係について、「朝貢」という言葉が意味することを中心に理解している。 ②紀元前3世紀に中国を統一した秦の始皇帝の権力の強さについて考察し、政治のしくみ、兵馬俑坑や万里の長城のような具体的な事例による根拠にもとづいて適切に表現している。					○	○	ノート・ワークシート				
			単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点			評価の見取り		キャリア教育					
							主	思	技			人間	情報	将来	意思		
2 学期前期	11 月	66	4 ギリシャとローマの政治と文明 ◎古代のギリシャとローマではどのような政治が展開されたのだろうか。	ギリシャとローマではどのような政治が行われたのか、文章や資料から読み取り、現代の民主政治と異なる点を考える。	・古代ギリシャで民主政が発達したことによって生まれた文化の特徴にも着目させる。 ・民主政や共和政が生まれた背景として、市民が国家の防衛や戦争をする上で重要な役割を担っていたという共通点にも気づかせる。	①ギリシャのアテネで行われた民会に参加している人々が成人の男子であることや、ローマ帝国がアジアとの交易を活発に行っていたことを資料から適切に読み取り、理解している。 ②古代ギリシャの民主政や古代ローマの共和政の共通点、現代の民主政治と異なる点とは何かを考察し、政治の権利を持つ人や労働を担う奴隷などに着目して、適切に表現している。					○	○	ノート ワークシート				
		67	5 仏教・キリスト教・イスラム教の誕生 ◎仏教・キリスト教・イスラム教はどのようにおこり、広まったのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 古代の四つの文明が誕生し発展するうえで共通する特徴は何か、説明しよう。	世界的な規模で信仰されている宗教は、どのように生まれ、広まっていったのか、文章や地図から読み取る。 ◇各文明が成立したときに出来たものを確認させる。	・各宗教が生まれた背景や広まっていく理由には、共通点があることに気づかせる。 ・文明がおこった地域と古代の文明地域と重なることに気づかせ、それがなぜかを文章から読み取らせる。 ◇文明によって生まれた政治や文化が発展していった国家と宗教との関係に着目して考えさせる。	①仏教、キリスト教、イスラム教が生まれた時期と場所、広まりのようす、シャカ、イエス、ムハンマドが説いたことなどを文章や地図、資料などから適切に読み取り、理解している。 ②古代文明と宗教の関係について地図や資料をもとに考察し、仏教、キリスト教、イスラム教などのおこった地域が、それぞれインドや西アジアなどの世界の古代文明地域と重なり、差別や貧富の差が宗教の誕生する背景として共通していることを適切に表現している。					○	○	ノート ワークシート				
第2節 東アジアの中の倭(日本)					人間	情報	将来	意思									
2 学期前期	11 月	70	タイムトラベル①・② 1 縄文から弥生への変化 ◎縄文・弥生時代の日本列島の人々の生活には、どのような特徴があったのだろうか。	縄文時代から弥生時代にかけて、人々の生活はどのように変化したのか、稲作とかがかわらせて考える。	・自然環境（気候）や大陸とのかかわりの変化によって、生活が変わり時代が移っていくことに気づかせる。 ・『タイムトラベル①・②』を活用するほか、石器、土器、金属器のレプリカや写真など、できる限り視覚に訴える資料を提示する。	①稲作が始まり、米の保存・煮たきに適した弥生土器、稲をたくわえるための高床倉庫、豊作を神に祈る道具として青銅器がつくられ利用されるようになったことなど、弥生時代に人々の生活がどのように変わったか、具体的な事例をもとにして理解している。 ②気候が暖かくなり、森林が広がったこと、稲作が伝わり西日本から東日本に広がるなどの環境の変化に合わせて、生活がどのように変化したかを資料をもとに考察し、適切に表現している。					○	○	ノート ワークシート				

12月	71	<p>2 ムラがまとまりクニへ</p> <p>◎日本列島のクニはどのようにまとまっていったのだろうか。</p>	<p>日本列島の各地にあった国々はどのようにしてまとまっていったのか、中国の歴史書が伝えていることなどをともに考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 吉野ヶ里遺跡や復元模型、中国の歴史書の記述をもとに考えさせる。 ヒスイや貝製の腕輪が見つかった遺跡から、日本列島各地が交易で結びついていたこと、北海道や南西諸島では狩りや漁を中心とした生活が続いていたことに気づかせる。 	<p>①『漢書』、『後漢書』、『魏志』倭人伝に書かれた倭(日本)のようすから、紀元前1世紀ごろには100余りの国に分かれていたこと、1世紀の半ばに奴国の王が漢に使いを送り、金印を与えられたこと、3世紀には邪馬台国の女王卑弥呼が30余りの国を治め、中国に使いを送って倭王の称号と金印、銅鏡を得ていたことなどを適切に読み取り、理解している。</p> <p>②弥生時代には土地や水の利用をめぐる争いがあったことを、佐賀県の吉野ヶ里遺跡で発掘された大きな集落のあとや、人骨などのような具体的な事例をもとに考察し、根拠にもとづいて適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート					○
	72	<p>3 鉄から見えるヤマト王権</p> <p>◎ヤマト王権はどのようにして勢力を拡大していったのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 日本列島において、クニができ、勢力を広げていくのに重要だったことは何か、説明しよう。 歴史を探ろう 古墳から分かる当時の様子</p>	<p>ヤマト王権はどのようにして勢力を拡大していったのか、鉄や前方後円墳が各地に広まった理由をもとに考える。</p> <p>◇ムラからクニ、さらにヤマト王権へとまとまる過程を確認させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当時の日本列島で鉄が貴重だった理由(農業や軍事面)を考えさせる。 ヤマト王権は豪族たちにとだ鉄や技術を与えただけではなく、兵士の動員などを義務づけていたことに気づかせる。 <p>◇中国や朝鮮半島から伝わったさまざまなものに着目して考えさせる。</p>	<p>①渡来人が伝えたさまざまな技術について、土器を高温で焼く技術が伝わり、これまでよりも丈夫な須恵器が生産されるようになったことなど、具体的なことがらを理解している。</p> <p>②ヤマト王権の勢力拡大に鉄が果たしていた役割を考察し、各地の豪族が、鉄の豊富な朝鮮半島とのつながりがあるヤマト王権と結びつきを強めようとした理由などを、根拠をもって適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート					
		単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点	評価の見取り	人間形成	情報活用	将来設計	意思決定		
12月	73	<p>タイムトラベル③</p> <p>1 ヤマト王権と仏教伝来</p> <p>◎蘇我氏や聖徳太子は、国づくりのためにどのような改革を行ったのだろうか。</p>	<p>蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくろうとしたのか、蘇我氏と聖徳太子が協力して行った政策などをもとに考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地図を用いて、当時の東アジア諸国間に緊張が高まっていたことを確認する。 新しい国づくりを進めていく上で、隋との間にどのような関係が必要で、そのためどのような政策を実施したのかを考えさせる。 	<p>①蘇我氏と聖徳太子が協力して行った政策、隋との結びつきが必要だった理由、仏教が果たした役割を理解している。</p> <p>①当時は女性天皇が多く生まれていることなど、系図を適切に読み取る技能を身につけている。</p> <p>②仏教を取り入れた理由や遣隋使を派遣した目的を考察し、それぞれの影響についても適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート				○	
	74	<p>2 律令国家を目指して</p> <p>◎東アジア諸国との関係のなかで、倭国(日本)はどのような改革を進めたのだろうか。</p>	<p>東アジア諸国との関係のなかで、倭(日本)はどのような改革を進めたのか、天智天皇と天武天皇が行った政策などを文章や資料から読み取ってまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> この時期に元号や正式な国名が定められたことに気づかせる。 唐にならって新しく日本の政治に取り入れられたものを、文章から読み取らせる。 政治のしくみや、上部に位置するほど政治の実権をにぎっていることを確認する。 	<p>①大宝律令によって生まれた、天皇を頂点とし、太政官が政策を決め、その下の八つの省が実施にあたる中央政府(朝廷)のしくみや、地方を国・郡・里に分け、中央から派遣された国司が、郡司や里長に任命された地方豪族を監督する地方のしくみなどを、本文や図などから適切に読み取り、理解している。</p> <p>①唐にならった国づくりをめざす過程で初めてつくられた戸籍や律令、本格的な都によって、天皇を中心とする国のしくみができたことを理解している。</p> <p>②中国と朝鮮半島の情勢が日本の動きにどのような影響を与えたかを考察し、日本に逃れた百済の人々や遣唐使が果たした役割について適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート					
	75	<p>3 律令国家での暮らし</p> <p>◎奈良時代の土地と税の制度にはどのような特徴があったのだろうか。</p>	<p>奈良時代の土地制度、税制度は人々の生活にどのような影響を与えたのか、資料などをもとに考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農民にとっての税や兵役、労役がどれほど重かったのか、資料などから読み取らせる。 重い負担から逃れるために、どのような行動をとる農民たちがいたのか、文章から読み取らせる。 	<p>①戸籍の性別や年齢を偽ることで農民の負担が軽くなる理由を、班田収授法の内容をもとに理解している。</p> <p>②班田収授法と墾田永年私財法が定められた理由を、それぞれ具体的な制度上の目的を中心に考察して、適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート				○	
	76	<p>4 大陸の影響を受けた天平文化</p> <p>◎奈良時代にはどのような特徴を持った文化が展開したのだろうか。</p>	<p>奈良時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、大陸の影響と文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地図を活用し、当時の唐がシルクロードを通してイスラム勢力などと交流もっていたこと、東大寺正倉院に伝わる五絃琵琶などがそのことを物語っていることを確認させる。 	<p>①唐を中心とした国際関係などをもとに、国際的な文化が栄えた背景や、『古事記』や『日本書紀』、『風土記』がつくられた理由を理解している。</p> <p>①聖武天皇が仏教を支持し、大仏や国分寺と国分尼寺を造らせた理由、仏教文化が広まっていった理由を理解している。</p>	○		ノート ワークシート					
	第4節 展開する天皇・貴族の政治										人間	情報	将来
	77	<p>タイムトラベル④</p> <p>1 権力を握った貴族たち</p> <p>◎平安京では、どのような政治が行われたのだろうか。</p>	<p>平安京に都を移したのち、朝廷の政治にどのような変化が見られるようになり、なぜ藤原氏が政治の実権を握ることができたのか、文章や系図などをもとに考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主権者教育の観点から、平安時代の政治のよい面(法律の整備)や問題点(形式ばかりが重んじられることなど)を指摘させてもよい。 東アジア(中国)における情勢の変化が、日本の政治に影響を与えた(遣唐使の派遣を停止)ことに気づかせる。 	<p>①桓武天皇が平安京に都を移した理由、平安時代に幼い天皇が即位しても問題がなかった理由、地方の政治が乱れていた背景について理解している。</p> <p>②藤原氏が政治の実権をにぎり続けることができた理由を考察し、系図などの資料をもとに適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート					

1月	78	<p>2 唐風から日本風へ変わる文化</p> <p>◎平安時代にどのような特色をもった文化が生まれたのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 政治、文化、外国との関わりに着目して、奈良時代と比べて平安時代がどのように変わったか説明してみよう。</p>	<p>平安時代にはどのような特色をもった新しい文学や仏教が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇奈良時代の天平文化との違いに注目させる。</p>	<p>・菅原道真の提案による遣唐使派遣の停止後も、唐の滅亡後に中国を統一した宋の商人や、宋に渡った僧侶の活動によって、引き続き中国の文物がもたらされたことを説明しておく。</p> <p>◇「梅」から「桜」への変化などに着目して考えさせる。</p>	<p>①奈良時代と比べて平安時代の政治や文化、外国との関わりの特徴を理解している。</p> <p>①絵巻物の絵の場面には、空間の変化だけでなく、時間の流れを表すものもあること、当時の暮らしぶりや建物の構造が読み取れることがわかっており、絵巻物を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>②国風文化や新しい仏教の特色について、天平文化や奈良時代の仏教との比較をもとに考察し、代表的な文学作品などの例をあげながら適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート					
	79	<p>学習を振り返ろう</p> <p>古代国家の成立と東アジア ■章の問い■古代の国が成立するために重要なことは何か。</p>	<p>古代の日本で国が成立するための共通点や必要なことを考え、最も重要なものを選び、その理由とともに発表し合う。</p> <p>古代とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。</p>	<p>他の時代と比較することはできないが、中国などとの関係に目を向けさせ、国の成立過程で外国から取り入れたものは何かヒントとなる。</p> <p>意見交換の後は、必ず自分の考えを補足する理由や視点を自分が考えたことに取り入れさせるようにする。</p> <p>古代とはどのような時代か、まずは短い言葉で特色を表現させ、歴史的な見方・考え方（時代や年代、推移、比較、相互の関連）を働かせて、そのように表現できる理由を説明させる。</p>	<p>①章の学習を振り返り、歴史的な見方・考え方を働かせて、国が成立するために重要なことを効果的にまとめている。</p> <p>②国が成立するために必要な条件に着目するなどして、古代という時代を大観し、時代の特色を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>③古代の国づくりについて、現代の国家のあり方と比較するなどして、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	ノート ワークシート レポート				
第2章 第1節 武士の世の始まり										人間	情報	将来	意思
1月	80	<p>タイムトラベル⑤ 1 各地で生まれる武士団</p> <p>◎武士はどのようにして力をつけていったのだろうか。</p>	<p>武士はどのようにして現れ、都や地方でどのような役割を果たし、どのように成長していったのかを、文章や資料などから読み取る。</p>	<p>・土地の私有が基礎となる社会では、その権利や境界などをめぐる争いが起こりやすくなるが、地方では警察や裁判のしくみが整っていなかったことが、武士の成長や僧侶が武装する背景となっていたことに気づかせる。</p>	<p>①天皇の子孫でもある源氏や平氏が、各地の武士団を広くまとめ、武士の統率者（棟梁）となっていたことを理解している。</p> <p>②人々が武装してみずからの力で紛争を解決しようとする社会が形成された経緯をふまえ、武士が現れて成長していった過程を考察し、都と地方の武士が果たした役割をもとに、適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート					
	81	<p>2 朝廷と結び付く武士</p> <p>◎武士はなぜ政治の実権を握ることができたのだろうか。</p>	<p>平氏とはどのような出来事をきっかけにして実権をにぎり、どのような政治を行い、なぜ滅ぼされたのか、予想を立てたり、文章や資料などから読み取ったりする。</p>	<p>・戦乱に勝った平清盛が、政治の実権を維持する上で、貴族（藤原氏）と同じような方法をとったこと、貿易の利益に目を向けたことに気づかせ、「長く続く武家政権」にならなかった理由を考えさせる。</p>	<p>①源氏と平氏が大きな力をもつようになった背景（荘園の権利や境界をめぐる紛争の解決など）や平清盛が政治の実権を握るきっかけとなった出来事（保元の乱と平治の乱に勝利したこと）、平氏政権の経済的な基盤が何であるか（日宋貿易）を理解している。</p> <p>②武士として初めて政治の権力を握った平清盛がそれを維持しようとしてとった行動の意味を考察し、具体的な事実をふまえながら適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート				○	
	82	<p>3 鎌倉を中心とした武家政権</p> <p>◎鎌倉を中心とした武家政権は、どのような特徴を持っていたのだろうか。</p>	<p>鎌倉を中心とした武家政権は、どのような特徴をもっていたのか、御家人の視点から考えたり、まとめたりする。</p>	<p>・御成敗目録の一部を読ませて、御家人にとって都合がよい慣例があることや、律令とは異なる女性の権利があったことに気づかせる。</p>	<p>①小学校の学習をふまえ、主従関係のしくみを本文から読み取り、図などを用いて適切にまとめ、理解している。</p> <p>①資料をもとにして、承久の乱の勝利をきっかけに、鎌倉幕府と東国の武士による支配が西国にも及ぶようになったことを理解している。</p> <p>②御家人にとって、地頭に任じられることが大切だった理由（荘園や公領の支配が可能となる）を考察し、主従関係などをもとにして、適切に表現している。</p> <p>②北条氏が執権として御家人をまとめ、長く幕府を運営することができた理由を考察し、源氏との関係や承久の乱の勝利などをもとにして、適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート					
	83	<p>4 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化</p> <p>◎鎌倉時代には、どのような特色を持った文化が展開したのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 武家政権のしくみの特徴とは何か、「領地」「御家人」という言葉を使って説明してみよう。</p>	<p>鎌倉時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、武家の政治や新しい仏教の動きに着目させ、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇武士が土地を守るためにどのような関係を築いたかを確認させる。</p>	<p>・平安時代までの仏教と鎌倉時代のさまざまな仏教の違いを考えさせる。</p> <p>・奈良時代や平安時代から続く伝統的な仏教も根強く信仰されていたことにも着目させ、その理由を予想させる。</p> <p>◇武士が土地を守るためにどのような関係を築いたか、將軍、御家人、御恩、奉公、領地、主従関係という重要なキーワードに着目して考えさせる。</p>	<p>①新たな政治の支配者となった武士の気風にあった鎌倉時代の文化の特色を、具体的な文化財とその特徴をもとにして理解している。</p> <p>①鎌倉時代の新しい仏教について、開いた人とその教え、どのような人々に受け入れられたかを読み取り、表を用いて適切にまとめ、理解している。</p> <p>②鎌倉で禅宗の影響が強まった理由を考察し、武士に受け入れられた背景や幕府による保護などにふれながら、適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート				○	

	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点			評価の見取り	キャリア教育				
					主	思	技		人間	情報	将来	意思	
1月	84	学習を振り返ろう	学習の基礎的事項を確認するとともに、歴史的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	③武家政治の成立とユーラシアの交流について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○			ノート ワークシート レポート				
	第2章 第1節 武家政権の内と外									人間	情報	将来	意思
2月	85	1 海を越えて迫る元軍 ◎蒙古襲来は、鎌倉幕府の政治にどのような影響を与えたのだろうか。 歴史を探ろう 東アジアに開かれた窓口 博多	蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響を与えたのか、文章や絵画資料などから読み取ったり考えたりする。	・地図資料などをもとに、元軍は九州北部だけではなく、樺太（サハリン）や琉球、台湾にも襲来していること、高麗（朝鮮）の抵抗や大越（ベトナム）の粘り強い戦いが元軍の日本遠征を妨げる要員となったことに気づかせる。	①フビライ=ハンが中国北部を支配し、国号を元に変えたところから、3度目の日本への遠征を計画したところまでの流れを、年表の形式で適切にまとめ、理解している。 ①蒙古襲来後、御家人の生活が苦しくなった ②蒙古襲来以後の幕府と御家人の関係の変化を考察し、御家人たちが鎌倉幕府に不満をもつようになった理由を「御恩」と「奉公」という言葉を用いて適切に表現している。		○	○	ノート ワークシート				
	86	2 南北朝の内乱と新たな幕府 ◎なぜ鎌倉幕府は行き詰まり、室町幕府が成立したのだろうか。	鎌倉幕府はどのようにしてほろび、その後、政治はどのように変化していったのか、守護と守護大名の違いなどに着目し、資料などから読み取ったり考えたりする。	・鎌倉幕府を倒した勢力の柱とも言える後醍醐天皇による政治が短期間で崩壊した理由を、資料をもとにして考えさせる。 ・室町幕府の力が弱くなっていったことが、のちの戦国の動乱につながったことに気づかせる。	①鎌倉幕府の崩壊から建武の新政、室町幕府の成立にいたるまでの経緯を、勢力をもっていた人々の関係もふまえながら、流れ図などで適切にまとめ、理解している。 ①室町幕府が將軍の補佐役として管領をおき、有力な守護大名が任命されて政治が行われるようになると、どのような混乱が見られるようになったか、文章から適切に読み取って、理解している。 ②鎌倉時代の守護と室町時代の守護大名の違いについて考察し、勢力をもつようになった理由にふれながら、「軍事」「荘園」「国司」という3語を適切に用いて表現している。		○	○	ノート ワークシート		○		
	87	3 東アジアの交易と倭寇 ◎室町幕府は、東アジア諸国とどのような関係を築いたのだろうか。	室町幕府は東アジア諸国とどのような関係を築いたのか、文章や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。	・14世紀後半は、日本では南北朝の争乱があり、東アジアでは倭寇の活動がさかんになり、中国では元のあとに明が、朝鮮半島では高麗のあとに朝鮮が建国されるという激動の時期であったという共通点に気づかせる。 ・日明貿易によって大量の銅銭が輸入され、国内の貨幣経済の発達を促したことに着目し、次節の学習と関連させて気づかせる。	①日本（室町幕府）・明・高麗（朝鮮）・倭寇の関係を、政治的な要求や貿易品名（日本の輸入品としては生糸や絹織物、銅銭など）などの経済的な関係を含めて、図を用いて適切にまとめ、理解している。 ②明を中心とした東アジアの伝統的な国際関係に日本が組み込まれ、足利義満が明と勘合貿易を始めた理由を考察し、「朝貢」などの言葉を用いて適切に表現している。		○	○	ノート ワークシート				
	88	4 琉球とアイヌの人々がつながる交易 ◎琉球王国やアイヌの人々は、周辺諸国とどのような関係を築いたのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 東アジアとの交流がこの時代の日本にもたらした影響とは何か、政治と経済の面から説明してみよう。	琉球王国やアイヌの人々は周辺諸国とどのような関係を築いていたのか、資料や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。 ◇日本は、特に中国とどのような関係を築いたかに注目させる。	・前時の学習をより広い範囲で考え、深めていく時間であることに気づかせ、前時で作成した東アジアの関係図に、琉球王国やアイヌ文化圏を追加記入させる。 ◇なぜ朝貢という対等ではない外交関係を中国と結ぶことを幕府（足利義満）が選択したのか、経済的な面に着目して考えさせる。	①日本、明、高麗に琉球、アイヌ、シャムやマラッカなどを加えた関係図をまとめ（前時の図に書き加え）、交易によって結びついていたこと、琉球も日本と同じように明との朝貢貿易を行っていたことを理解している。 ②琉球王国やアイヌの人々が力をつけた背景として共通している点、特に琉球王国が繁栄し、独自の文化を築くことができた理由（地理的な位置の条件を生かした中継貿易）を考察し、各地域との交易や交流にふれながら、適切に表現している。		○	○	ノート ワークシート				
第3節 人々の結び付きが強まる社会									人間	情報	将来	意思	
89	タイムトラベル⑥ 1 技術の発達とさまざまな職業 ◎鎌倉時代から室町時代にかけて、産業と交通はどのように発展していったのだろうか。	鎌倉・室町時代において、産業と交通はどのように発達したのか、農業生産力向上のための工夫やさまざまな職業の登場、商業、運送業などの発達に着目させ、絵画資料などから読み取ってまとめる。	・導入で、定期市の様子を描いた絵巻物の一場面から読み取れる商品などを発表させる。 ・本文や資料で紹介されている職業が商業と工業（手工業）のどちらにあたるかを分類させる。	①絵画資料などで示されている職業を商業（売ったり運んだりする仕事）と工業（手工業）に分類し、適切にまとめ、理解している。 ②室町時代に職人の種類が増加した理由や、商業がさかんになった理由について考察し、農業生産力の向上や銅銭の大量輸入による貨幣経済の進展、交通の発達にふれながら、適切に表現している。		○	○	ノート ワークシート		○			

3月

97	<p>2 大航海時代の幕開け</p> <p>◎ヨーロッパの人々の進出によって、世界はどのように変化したのだろうか。</p>	<p>新航路を開拓したヨーロッパの国々によって、世界はどのように変化したのか、地図などの資料をもとに考え、ヨーロッパとアジアや南北アメリカとの関係を図でまとめる。</p>	<p>・アジアで交易が活発に行われていたことや、イスラム商人がアジアとヨーロッパを結びつける役割を果たしていたことに気づかせる。</p> <p>・南北アメリカ大陸の作物(じゃがいも、とうもろこし、トマト、かぼちゃなど)が世界に伝わったことにふれて、大航海時代の幕あけを「一つに結びつく世界」という視点から扱い、それまでの歴史との大きな違いに気づかせる。</p>	<p>①大航海時代におけるヨーロッパとアジア、南北アメリカとの関係を図に示して適切にまとめ、理解している。</p> <p>①スペイン人がアフリカの人々を奴隷としてアメリカに連れて行った理由について、アメリカで行われていた産業に注目して理解している。</p> <p>②ポルトガルやスペインがアジアを目指した理由について、交易(香辛料や絹織物を手に入れるため)と布教(キリスト教を広めるため)という2つの面から考察し、適切に表現している。</p> <p>②ヨーロッパによる新航路の開拓がアフリカやアメリカ、アジアに与えた影響についてさまざまな面から考察し、適切に表現している。</p>	○	○	○	ノート ワークシート	○			
98	<p>3 東アジアの貿易と南蛮人</p> <p>◎ヨーロッパの海外進出によって、日本の社会はどのような影響を受けたのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ ヨーロッパの国々が進出した地域では、どのような変化が起こったのか、「貿易」と「キリスト教」という言葉を使って説明してみよう</p>	<p>ヨーロッパとの貿易や交流は、戦国時代の日本にどのような影響を与えたのか、鉄砲とキリスト教に着目して考える。</p> <p>◇各地域の経済と文化がどのように変化したかを確認させる。</p>	<p>・琉球の貿易船が活躍する東アジア、東南アジアの中継貿易に、ポルトガルやスペイン、オランダが加わるといふ図式で理解させる。</p> <p>◇前時の学習と日本での変化もふまえ、日本独自の動きに着目して考えさせる。</p>	<p>①鉄砲が日本に受け入れられて全国に普及していった経緯や、南蛮貿易がさかんになっていったことについて理解している。</p> <p>②キリシタンが増加した理由と、キリシタン大名になる者がいた理由について、当時の社会の具体的な状況にもとづいて考察し、「鉄砲」という語も用いて適切に表現している。</p>	○	○	○	ノート ワークシート				○
<p>第2部 第3章 第2節 戦乱から全国統一へ</p>									人間	情報	将来	意思
99	<p>タイムトラベル⑦</p> <p>1 信長・秀吉による全国統一</p> <p>◎戦国大名は、どのようにして全国統一を進めたのだろうか。</p>	<p>織田信長は、どのようにして全国を統一していったのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに読み取る。</p>	<p>・小学校の学習をふまえて、戦乱に勝利したことは導入で短時間で確認し、経済に関する政策など、中世社会とは異なる新しい社会が生まれることになる具体的な変化に注目させる。</p>	<p>①戦国時代はどのようにして終わったのか、織田信長と豊臣秀吉が全国統一を果たしていった経緯をもとに理解している。</p> <p>②織田信長の政策が日本の社会をどのように変えたかについて、政治面、社会面、経済面のそれぞれから具体的な事例(足利義昭を京都から追放して室町幕府を滅亡させたこと、敵対する仏教勢力に対抗し、貿易の利益を得るためにキリスト教を保護したこと、開所を廃止したり、楽市・楽座を行ったりしたこと)をもとに考察し、中世社会と異なっていることを適切に表現している。</p>	○	○	○	ノート ワークシート				
100	<p>2 秀吉が導いた近世社会</p> <p>◎秀吉は、国内と海外に対してどのような政策を行ったのだろうか。</p>	<p>豊臣秀吉が国内と海外に対して行った政策は、どのような影響を残したのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに考える。</p>	<p>・検地と刀狩によって社会はどのように変化したかを考えさせる。</p> <p>・対外政策では、キリスト教への対応や朝鮮出兵に注目させる。</p>	<p>①秀吉による朝鮮出兵が、朝鮮各地の人々はもちろん、日本の武士や民衆にも多くの犠牲や負担を強いたことで、豊臣氏の支配が弱まる原因となったことを理解している。</p> <p>②検地と刀狩によって社会がどのように変化したかを考察し、中世までとは異なる社会(農民らが武装して自らの力で紛争を解決することが否定されたこと、石高に応じた年貢を納めることを義務づけられたこと、身分制に基づく社会の土台がつくられたこと)がつくられたことを、「兵農分離」という語を用いて適切に表現している。</p> <p>②豊臣秀吉がキリスト教を禁止した理由と、それが徹底できなかった理由について、ポルトガルやスペインによる布教や海外貿易の目的などの面から考察し、適切に表現している。</p>	○	○	○	ノート ワークシート				○
	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点			評価の見取り	キャリア教育			
					主	思	技		人間	情報	将来	意思
101	<p>3 戦国大名と豪商が担った桃山文化</p> <p>◎安土桃山時代には、どのような特色を持った文化が展開したのだろうか。</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇ 信長と秀吉による全国統一政策により、日本の社会はどのように変わったか、中世の社会の特色と比較して説明しよう</p>	<p>織田信長や豊臣秀吉が登場した時代には、どのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇人々の生活や経済の変化に注目させる。</p>	<p>・戦いの拠点だった城の変化(山城から平山城、平城へ)に注目させ、城に残された文化財とその特徴を考えさせる。</p> <p>◇前時までの学習をふまえ、文化の面など中世社会からの変化に着目して考えさせる。</p>	<p>①織田信長や豊臣秀吉が支配したところ(安土桃山時代)に海外から伝わった技術や文化(鉄砲、天文学、航海術、医学、活版印刷技術、陶磁器づくりの技術など)を三つ以上あげて、表を用いてその特徴を適切にまとめ、理解している。</p> <p>②安土桃山文化が壮大で豪華な文化であった理由を、時代の変化や文化の担い手(新しい時代を切り拓いた気風や経済力をもった戦国大名や豪商)などに着目して考察し、適切に表現している。</p>	○	○	○	ノート ワークシート				○

2 学期後期

3 月

102	<p>1 信長・秀吉による全国統一 ○織田信長の登場 ○信長の政策 ○豊臣秀吉の全国統一</p>	<p>織田信長と豊臣秀吉は、どのようにして全国を統一していったのか、絵画資料などから読み取る。</p>	<p>・近世社会の枠組みが作られていった過程に着目させ、一つひとつの戦いなどに詳しくふれることなく、網羅的にならないように配慮して、大きな変化に気づかせる。</p>	<p>①戦国時代はどのようにして終わったのか、織田信長と豊臣秀吉が全国統一を果たしていった経緯をもとに理解している。 ②織田信長の政策が日本の社会をどのように変えたかについて、政治面、社会面、経済面のそれぞれから具体的な事例（足利義昭を京都から追放して室町幕府を滅亡させたこと、敵対する仏教勢力に対抗し、貿易の利益を得るためにキリスト教を保護したこと、関所を廃止したり、楽市・楽座を行ったりしたこと）をもとに考察し、中世社会と異なっていることを適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート				
103	<p>2 秀吉が導いた近世社会 ○秀吉の国内政策 ○秀吉によるキリスト教の禁止と海外貿易 ○文禄・慶長の役</p>	<p>秀吉が国内と海外に対して行った政策は、どのような影響を残したのか、法令や地図などの資料をもとに考える。</p>	<p>・資料の『刀狩令』を読ませて、農民の生活をどのように変えようとしているのか、予想を立てさせる。 ・対外政策では、キリスト教への対応や朝鮮出兵に着目させる。</p>	<p>①秀吉による朝鮮出兵が、朝鮮各地の人々はもちろん、日本の武士や民衆にも多くの犠牲や負担を強いたことで、豊臣氏の支配が弱まる原因となったことを理解している。 ②検地と刀狩によって社会がどのように変化したかを考察し、中世までとは異なる社会（農民らが武装して自らの力で紛争を解決することが否定されたこと、石高に応じた年貢を納めることを義務づけられたこと、身分制に基づく社会の土台がつくられたこと）がつくられたことを、「兵農分離」という語を用いて適切に表現している。 ②豊臣秀吉がキリスト教を禁止した理由と、それが徹底できなかった理由について、ポルトガルやスペインによる布教や海外貿易の目的などの面から考察し、適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート				
104	<p>3 戦国大名と豪商が担った安土桃山文化 ○戦乱の世の文化 ○海外から流入した文化の影響 ○今を楽しむ庶民 ◎安土桃山時代をふりかえって</p>	<p>織田信長や豊臣秀吉が登場した時代には、どのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p>	<p>・『洛中洛外図屏風』は、当時の人々の暮らしを知る貴重な手がかりになることに気づかせる。 ・阿国歌舞伎をえがいた資料では、どのような人々が見物していたかに着目させる。</p>	<p>①織田信長や豊臣秀吉が支配したころ（安土桃山時代）に海外から伝わった技術や文化（鉄砲、天文学、航海術、医学、活版印刷技術、陶磁器づくりの技術など）を三つ以上あげて、表を用いてその特徴を適切にまとめ、理解している。 ②安土桃山文化が壮大で豪華な文化であった理由を、時代の変化や文化の担い手（新しい時代を切り拓いた気風や経済力をもった戦国大名や豪商）などに着目して考察し、適切に表現している。</p>	○	○	ノート ワークシート				
105	<p>学習を振り返ろう</p>	<p>学習の基礎的事項を確認するとともに、歴史的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。</p>	<p>近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>③統一事業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○		ノート ワークシート レポート				

2 学期 後期	3 月							